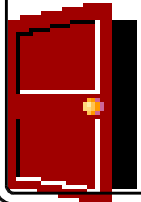


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和5年2月3日 第51号 文責 渡邊

『はごろも教育研究奨励賞 学校賞』を受賞しました！

「はごろも教育研究奨励賞」とは、公益財団法人はごろも教育研究奨励会が主催となり、「静岡県において優れた教育研究を行い、顕著な研究実績を挙げている学校並びに教職員を顕彰し、奨励助成することにより、本県における教育研究の高揚と充実を図り、本県学校教育の振興と青少年の健全育成に寄与することを目的とする」ことを趣旨としています。

令和4年度、本校は、「小さな学校の『強み』を土台に、自然に恵まれた学習環境を生かした体験活動と読書活動をつなぎ、『豊かな感性』と『深い思考力』を育成する学校運営を目指して」をテーマに教育活動に取り組み、その成果が認められ栄えある受賞となりました。



【学校賞受賞の案内を手に】

本研究実践は、小規模校である本校の教育活動を、変化が激しく予測困難な新しい時代を生きる児童に必要な力とは何かという視点から見直して取り組んだものです。そして、小さな学校の「強み」を働かせて、推進すべき教育活動の可能性と創造性を発揮し、学ぶ児童も、指導する教師も、送り出す保護者も、見守る地域の方々も幸せだと感じられる学校づくりを目指しました。

桑村小学校は、豊かな自然に恵まれた学習環境にあります。そこで、体験活動と読書活動をつなぎ、これからの社会に生きる児童に必要な「豊かな感性」と「深い思考力」を育成する教育活動に取り組みました。

これまで、読書活動を推進する手段として、地域の方や保護者の協力のもと、朝活動の時間帯に読み聞かせを行っていました。今回、それに加え新たに読書通信『読書活動への扉を開く』を刊行し、読書の効果と魅力等を学校と家庭とで共有し、協働で読書活動の推進に努めました。

この読書通信の特徴は、双方向的なスタイルの通信を工夫したことにあります。これまでの学校からの一方向的なスタイルから脱却し、保護者が自由に感想や意見を記述し、学校に伝えるのです。そして、それを受けた学校は広く紹介することで共有していくのです。



【読み聞かせの様子】

保護者からは、「毎回の『読書活動への扉を開く』を読ませていただき、校長先生の読書に対する熱意はすばらしいなと尊敬します。私自身も読書が好きで、子供たちと図書館に行くたび、自分の本も1～2冊借りています。毎日忙しいですが、少しでも本を読む時間を作り、子供たちと一緒に読書を楽しんでいます。校長先生のお便りに感化され、私ももっとたくさんの本を読みたいと思いました。これからも『読書活動への扉を開く』を楽しみにしています。」(6年生保護者)等の声が寄せられ、学校と家庭との双方向的な関係性の構築が強く感じられたことが大きな成果でありました。

もちろん「豊かな感性」を育むためには、自然環境に恵まれた学習環境の中での体験活動が有効です。「茶摘み体験」、「米づくり体験」、「野菜づくり体験」、「原生林体験」等、豊かな自然の恵みを受けた教育活動が実践されています。こうした体験活動が行えるのは本校の「強み」です。この「強み」を生かした学びから、「豊かな感性」や「深い思考力」の一層の育成を図るには、学びから得たものを表出することが大切なこととなります。それは、これまでも大切にしてきた学びの振り返りです。体験活動を通して各自が得た感動や成長の足跡等を文章等で表現し、自己の成長を振り返り、更なる学びへと発展させていくのです。しかし、これまでの子供たちの状況として、語彙力が乏しかったり、五感を働かせた振り返りの経験が十分でなかったりしたため、それらを発揮することができないでいました。そこで、今回、体験活動と読書活動をつなぎ、体験活動から得た感性や思考力を読書活動のそれと相互作用的に働かせることで、「豊かな感性」と「深い思考力」の更なる育成へと発展させていった取組も大きな成果として認められました。



【豊かな自然体験】

また、読書活動推進リーダーを新たに児童より選出し、先生たちとともに学校運営に参画する体制づくりに取り組んだことも大きな成果でした。子供たちが読書を楽しむにはどうしたらよいのかを子供の視点から考え、提案していったのです。リーダーとなって活躍した6年生は、児童自身が自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、学校に対して「自分たちの学校をよりよいものにしていく」という強い思いを抱くようになったことに大きな意味があったように思います。まさに新しい時代を切り拓いていく子供たちにとって大きな経験となったことでしょう。



【読書活動の推進】

今回、子供たちは、「豊かな感性」と「深い思考力」をいっぱい働かせて、桑村小学校のすばらしさを体感したことと思います。学ぶことは、実体験と言語がつながることで更に深い学びへと深化・発展し、大きな力となっていきます。

これまで別々に育成してきた「豊かな感性」と「深い思考力」を、体験活動と読書活動とをつなぐことで相互作用的に育成することの大切さを児童、教員、そして保護者が共有し、協働で取り組むことができたことは大きな成果となりました。これらの資質・能力の育成は、予測困難な未来に生きる児童にとってとても大切なもので、今後も継続して取り組むことにより「学校文化」にまで高めていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様方には、これまでの教育活動へのご理解とご協力を本当に嬉しく思います。

これからも桑村小学校の「強み」を働かせて、推進すべき教育活動の可能性と創造性を発揮し、全ての子供や教員が楽しく学び、幸せだと感じる学校を保護者や地域の方々の応援のもと、協働で創っていききたいと強く願います。ありがとうございました。

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動への扉を開く」（2月3日号）を読んだ感想

（ ）年（ ）